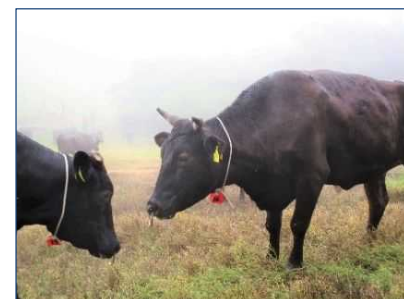


令和3年度  
普及指導計画

# 多様な人材で創る 新たな農業・地域の未来



宮城県石巻農業改良普及センター

<表紙の説明>

上段 左より

- ・プロジェクト課題 (株)宮城リスタ大川での社員勉強会 (水稻適期刈り取り)
- ・プロジェクト課題 アスパラガス, まもなく収穫です
- ・加工用ジャガイモの収穫 暑い最中の作業です

中段 左より

- ・せり田が広がる石巻市河北地区皿貝川流域の風景
- ・石巻地域は県内第2のいちご産地です
- ・農業法人向けセミナー ビジョン作成のワークショップ

下段 左より

- ・東北一の生産量を誇るガーベラ
- ・プロジェクト課題 ミニトマトの生育調査で生育状況をしっかり確認
- ・石巻市河北上品山牧場で放牧が始まりました！

# 目 次

I	令和3年度普及指導方針	1
II	普及指導員活動計画	3
	(1) プロジェクト課題一覧表	3
	(2) プロジェクト課題計画	4
	(3) 普及指導員調査研究一覧	8
III	普及センター活動等	9
	(1) 普及センター活動一覧表	9
	イ 重点活動	9
	ロ 一般活動	10
	(2) 展示ほ・実証ほ等設置計画	13
	(3) 各種情報調査計画	15
IV	その他	16
	(1) 管内で実施される主な事業と普及センターの役割分担	16
	(2) 職務分担	20

# I 令和3年度普及指導方針

石巻地域は、県東部の北上川下流域に位置し、水稻・大豆・麦類の土地利用型作物を主体に、畜産、園芸等多彩な農業が展開されている。水稻はひとめぼれ、ササニシキの主産地であり、畜産は基幹種雄牛「勝洋」、 「阜月彰」等を活用した優良肉用牛の生産を振興している。野菜は、冬春きゅうり、夏秋トマト、秋冬ねぎが国の野菜指定産地であり、いちご、こねぎ、ほうれんそうなど多様な品目が生産され、花きでは、東北一のガーベラ産地があるなど、県内の主要な園芸産地となっている。

こうした中、平成23年3月11日に発生した東日本大震災(マグニチュード9.0、震度7)では、津波により、沿岸部を中心に貴い人命を失うとともに住居や農地、農業用機械・施設等に甚大な被害を受け、農業産出額(平成23年)は149億円(平成18年比75%)まで減少した。

震災後、各関係機関・団体が連携し、国等の復旧・復興関連支援策の活用により、農地や園芸施設の復旧が行われた結果、農業産出額(平成30年)は197億円(平成23年比132%)となった。また、震災後、新たに70農業法人(令和2年12月現在)が設立され、これらの農業法人等が中心的な担い手となり震災からの復興が図られている。

土地利用型法人の中には100haを超える大規模経営を展開している法人があり、園芸では震災後に設立された大規模園芸法人をはじめトマト、いちご等で環境制御等の先進的技術が導入されている。これらの法人においては技術革新ばかりでなく経営管理支援も求められている。

さらに、農業・農村を取り巻く課題である農業従事者の減少や高齢化に加え、人口減少に対応した農村集落機能の維持、耕作放棄地、野生鳥獣被害対策への支援が求められている。また、水稻やいちご新品種の普及定着化、国際的に通用する農業生産工程管理(GAP)への取組等に体する支援要望が高まっている。

このような状況を踏まえ、震災から10年が経過した令和3年度は、「共創力強化 ～多様な人材が豊かな未来をつくる みやぎの食と農～」をキャッチフレーズとした「第3期みやぎ食と農の県民条例基本計画」(令和3年度～令和12年度)の初年度であることから、次代の農業を担う新たな担い手の確保・育成、ICT等を取り入れたアグリテックの導入等による省力・低コスト化の支援、経営の安定化と高度化に向けた取組に加え、地域資源を活かした付加価値の高い農業生産等を支援しながら、豊かなみやぎの食と農の未来を共に創っていくことを「食と農の将来像」の実現を目指す。

活動に当たっては「石巻地域普及活動基本方針」(令和3年度～令和7年度)に基づき、「新・宮城の将来ビジョン」、「第3期みやぎ食と農の県民条例基本計画(令和3年3月策定)」及び「みやぎ園芸特産振興戦略プラン(令和3年3月策定)」等との整合性を図り、次の4項目を重点活動項目に掲げ、市町やJA等農業関係機関と連携しながら、計画的かつ効率的な普及活動を展開する。

## 重点活動項目

- 1 地域農業を支える多様な人材の確保・育成
- 2 先進技術等を活用した農業生産の効率化と高度化の支援
- 3 先進的園芸法人を核とした園芸振興
- 4 農村地域の振興に向けた取組支援

## 1 地域農業を支える多様な人材の確保・育成

農業の持続的な発展に向けて、関係機関と連携しながら就農前から就農後まで切れ目のない支援を行い、新規就農者の確保・育成を図る。また、増加傾向にある雇用農業者の育成を支援する。地域農業の中心的担い手となっている経営体に対しては、経営規模の拡大、新たな品目導入、雇成型経営の安定化等による経営の体質強化を支援する。

- (1) 農業者研修教育施設や関係機関、農業法人等と連携した新規就農者の確保・育成支援
- (2) 雇用就農者のキャリアアップに向けた支援
- (3) 認定農業者や集落営農組織、認定農業者を志向する農業者や組織経営体等の経営改善及び安定に向けた支援
- (4) 「農地中間管理事業」等を活用した担い手に対する農地利用集積の推進

## 2 先進技術等を活用した農業生産の効率化と高度化の支援

土地利用型経営体の経営規模拡大や園芸経営体の環境制御技術等の先進的技術導入が加速化する中、ICT等先進技術の早期定着化や経営の効率化、地域資源の高付加価値化やグローバル化への対応などを技術・経営面から総合的に支援し、次代を先導するモデル経営体の育成を図る。

- (1) 土地利用型経営体におけるICT等を取り入れた新技術導入による生産効率化支援
- (2) 環境制御等革新的技術や総合的病害虫管理技術(IPM)技術等の導入・実践の支援
- (3) 経営分析・診断に基づく生産・経営の課題解決支援
- (4) 国際的に通用する農業生産工程管理(GAP)に取り組む経営体への支援
- (5) マーケティング戦略等に基づく経営計画作成と6次産業化などに取り組む経営体の支援
- (6) 優良繁殖牛基盤の拡充と飼料自給率や飼養管理技術向上による経営安定化の支援

## 3 先進的園芸法人を核とした園芸振興

園芸産出額の増大を図るため、農業法人等に対して、栽培技術と経営管理の継続支援を行い、園芸産地と先進的園芸経営体の育成等を図る。

- (1) 高度な環境制御技術等の先進技術を導入した施設園芸における収量・品質の向上を支援
- (2) 園芸サプライチェーン構築による安定供給体制の強化と地域の特色を生かした園芸品目の需要に応じた生産拡大を支援
- (3) 野菜指定産地等既存の園芸産地の維持・拡充による安定供給体制の強化を支援
- (4) 多様なニーズに対応した伝統野菜や地域の特産野菜、花き等、特色ある園芸品目の生産拡大を支援

## 4 農村地域の振興に向けた取組支援

高齢化や人口減少により農村集落機能の低下が懸念されており、農村地域の振興を図るため、地域の核となる組織・経営体の育成し、地域資源を活用したコミュニティビジネスの推進等の取組を支援する。

- (1) 農村地域振興の核となる組織及び経営体の育成・支援
- (2) 経営所得安定対策、水田フル活用ビジョン、人・農地プランなど地域計画の取組支援
- (3) 新品目・新品種の導入や特産品づくり、地域農産物の高付加価値化支援
- (4) 農村青少年クラブや生活研究グループ等の活動支援
- (5) 野生鳥獣被害対策の地域的な取組支援

## II 令和3年度普及指導員活動計画

### (1)プロジェクト課題一覧表

No	プロジェクト課題名	計画期間	対象（対象農家・地域名等）	進行管理担当班 担当者名
1	被災農地における土づくりの推進による生産性の向上 「農地中間管理事業」、「アグリテック」関連課題	令和2年度 ～ 3年度	(株)宮城リスタ大川 (農)みのり (株)ゆいっこ	先進技術第一班 ◎阿部定浩 遠藤貴司 小野愛実 児玉 彩 岩間睦実 遠藤弘樹
2	組織力強化による農業法人の経営ステップアップ 「GAP」関連課題	令和2年度 ～ 3年度	(株)めぐいと	地域農業班 ◎石原なつ子 伊藤尚美 小林雅文 鈴木香深 横田善尚
3	県育成品種「にこにこベリー」の収量安定化 「園芸振興」関連課題	令和2年度 ～ 3年度	(株)いちごランド石巻 (株)トライベリーファーム (株)イグナルファーム ((株)アグリ・パレット, (株)サンエイト)	先進技術第二班 ◎鈴木香深 三上綾子 小林雅文 今野 誠 渡邊真文
4	地域活性化に向けた高収益作物（アスパラガス）の導入・定着	令和2年度 ～ 4年度	アスパラガス研究会 (20経営体)	地域農業班 ◎佐藤泰征 伊藤尚美 今野 誠 小野愛実 濁沼小百合

(2) プロジェクト課題計画

課題No.	1		
課題名	被災農地における土づくりの推進による生産性の向上（「農地中間管理事業」「アグリテック」関連課題）		
計画期間	令和2年度～令和3年度		
対象名及び対象数	(株)宮城リスタ大川, (農)みのり, (株)ゆいっこ		
課題の背景	<p>・石巻市大川及び北上地区の農地は、東日本大震災の津波により甚大な被害を受けた。ほ場整備事業により毎年徐々に農地が復旧され、(株)宮城リスタ大川(以下「リスタ」と表記)、(農)みのり(以下「みのり」と表記)、(株)ゆいっこ(以下「ゆいっこ」と表記)が担い手として営農を行っている。</p> <p>・ほ場整備事業により令和3年度までに全面積に作付再開される予定となる。これまでの当普及センターの水稻生育調査等の結果から、復旧農地の地力が低い低収量となっている課題が明らかとなった。(株)宮城リスタ大川に有機物投入による土づくりの取組を提案したところ、土づくりや地力向上への関心が高まり、取組方法の検討を始めた。みのり、ゆいっこでも堆肥施用による土づくりが取り組まれており、その効果の検証が必要と感じている。</p> <p>・一方、畜産由来の有機物処理が地域の課題となっており、耕種農家への堆肥供給や地域内循環に向けた取り組みが始まりつつあるが、まだ限定的な一部の取り組みにとどまっている。</p> <p>・3法人では、水田の地力・水稻収量向上に合わせて計画的な労働力の配分を行うことや、毎年徐々に作付再開面積が拡大する中、水稻育苗ハウス面積等の不足もともない省力化技術として水稻乾田直播栽培への関心が高まっている。</p> <p>・大規模稲作法人の堆肥等散布は、経営面積が大きいことや、単年度に入手できる堆肥の量に限界があるため、複数年かけて全面積に堆肥を散布することとなる。そのため、ほ場管理システムを活用した、堆肥の散布計画作成やそれに基づく進捗管理、散布したほ場条件の社内での共有を図る必要がある。併せて、省力化技術として水稻乾田直播栽培の導入による作期分散や気象変動へのリスク分散など、効率的な労働配分を組み立てる必要がある。</p> <p>(前年度までの実施状況と今後の改善方向)</p> <p>・土づくりモデル実証ほを設置し、調査結果を基に現地検討会及び意見交換会を実施したところ、リスタが令和3年産に向けて畜産法人から堆肥の供給を受けて堆肥を散布した。また、最も海側の被害の大きかったほ場に、令和3年に復旧後初めて水稻を作付けするが、土壌分析により地力が低いことがわかった。堆肥施用による地力の向上効果の検証が必要のため、実証ほ設置・調査を継続する。</p> <p>・地域内の畜産法人・農家の復旧農地への堆肥の供給可能量を調査するとともに、耕種法人との意見交換会を実施し、リスタが畜産法人・農家、畜産新規就農者とマッチングして堆肥の散布を開始することとなった。</p> <p>・水稻乾田直播栽培実証ほを設置し、調査結果を基に現地検討会及び意見交換会を実施し、ゆいっこで雑草防除等相談にリアルタイムに対応し、技術改善方向が明らかになった。また、令和3年産でリスタ3ha、みのり5haの取り組みが開始されることとなった。</p>		
期待される対象の変化	<p>・地域内有機物循環システムが構築され、地力が向上し、水稻の収量向上・安定が図られ、有機物施用による土づくりが継続的に行われる。</p> <p>・農地復旧の進展に伴い、更に規模が拡大する大規模稲作経営法人において水稻乾田直播栽培への取り組みが拡大する。</p>		
県実施方針上の関連項目	<p>1－(1)先進的経営体や地域の核となる経営体の育成及び経営の安定化・高度化支援</p> <p>1－(2)新たな担い手の確保・育成と多様な人材の活躍支援</p> <p>3－(4)大規模自然災害等からの復旧・復興に向けた支援</p>		
地域基本方針上の関連項目	<p>1－(1)先進的経営体や地域の核となる経営体の育成及び経営の安定化・高度化支援</p> <p>1－(2)新たな担い手の確保・育成と多様な人材の活躍支援</p> <p>3－(4)大規模自然災害等からの復旧・復興に向けた支援</p>		
担当チーム員	◎阿部定浩, 遠藤貴司, 小野愛実, 児玉彩, 岩間陸実, 遠藤弘樹	担当班及び進行管理責任担当者	先進技術第一班 遠藤貴司
令和3年度			
成果指標	<p>定性的目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域内有機物循環システムが構築され、地力が向上し、水稻の収量向上・安定が図られ、有機物施用による土づくりが継続的に行われる。</li> <li>農地復旧の進展に伴い、更に規模が拡大する大規模稲作経営法人において水稻乾田直播栽培への取り組みが拡大する。</li> </ul>		
	<p>定量的数値目標</p> <p>有機物投入ほ場における水稻玄米収量 令和元年:430kg/10a → 令和2年:445kg/10a → 令和3年:460kg/10a (土づくりモデル実証ほ坪刈り収量:令和2年度:545kg/10a)</p>		
活動指標	<p>定量的数値指標(合計総現地活動日数 101日)</p>		
	<p>活動事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>土づくりモデル実証ほ設置による効果検証支援 37日</li> <li>地域内有機物供給・活用計画策定・活用体系構築支援 20日</li> <li>水稻乾田直播栽培実証ほ設置による導入効果検証支援 44日</li> </ul>		
<p>関係機関の主な役割分担項目</p> <p>JAいしのまき及び石巻市(経営体育成支援), (公社)みやぎ農業振興公社及び北上川沿岸土地改良区(農地集積支援), 東部地方振興事務所農業農村整備部(ほ場整備事業, 農地復旧)・畜産振興部(有機物資源地域内流通支援), 古川農業試験場(栽培技術支援), 畜産試験場及び農業・園芸総合研究所(堆肥化技術支援)</p>			
<p>関連事業名と役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>被災地域農業復興総合支援事業(事業計画の実現支援)</li> <li>東日本大震災農業生産対策交付金事業(事業計画の実現支援)</li> <li>農山漁村地域復興基盤総合整備事業(ほ場整備, 担い手への農地集積)</li> <li>農地中間管理事業(農地集積の普及啓発等)</li> <li>スマート農業実証モデル推進事業(技術導入・定着支援)</li> </ul>			

課題No.	2		
課題名 組織力強化による農業法人の経営ステップアップ(「GAP」関連課題)			
計画期間	令和2年度～令和3年度		
対象名及び対象数	(株)めぐいーと		
課題の背景	<p>・対象となる(株)めぐいーとでは、継続的な人材不足となっているほか、トマトの栽培管理において作業の遅れが毎年生じるなどして収量を損ねる原因となっており、令和元年度には「農業法人経営安定化ハンズオン支援モデル事業」を活用して、組織としての課題の洗い出しと対策を始めた。</p> <p>・この中でトマトにおけるGAPについて学び、GAPの効果(作業の標準化と定着、会社の対外的な信用度の向上)を感じ、社を挙げての取組の必要性を感じ始めたところである。</p> <p>・また同社では、令和2年4月、水田部門に新規採用社員が入社するほか、同年度中には育児休暇中の社員が復帰する見込みである。さらに令和3年度にも、水田・園芸各部門1名ずつの社員採用を計画している。</p> <p>・とりわけ水田部門はこれまで専ら役員が作業してきたところに若い社員を初めて投入することになり、栽培管理技術の継承や水田部門内の情報共有体制構築が新たな課題として顕在化することが考えられる。</p> <p>・このように同社は新たな担い手が増加する局面を迎えており、社員を定着させ、技術や情報の共有と伝達を図るためにも、その仕組みを構築することが課題となっている。</p> <p>(前年度までの成果と今後の改善方向)</p> <p>・社員の業績評価制度と、評価に基づく昇給・昇格制度が整備された。役員による評価の差異・本人評価と役員評価の差異が認められたので、令和3年度はシステムの運用と微調整を支援する。</p> <p>・ミニトマト部門は、作業の標準化に先立って社員の技術向上を図った。令和3年度は、生育モニタリングに基づく栽培管理の習慣づけを支援しつつ、作業の標準化に取り組む。</p> <p>・水田部門は、2名の新規採用社員の技術と作業スピード向上のための講習会を行い、人材育成を支援した。令和3年度は引き続き社員の技術力向上を支援しつつ、対象の意向を確認しながら、生産管理におけるIT技術の活用を促進する。</p>		
期待される対象の変化	<p>・人事や給与等に関する社内制度が整備され、正しく運用される。</p> <p>・作業などが標準化され、社内で認識共有・情報共有されている。</p> <p>・社内制度と情報共有体制を元に、人材の採用と定着が図られる。</p>		
県実施方針上の関連項目	1－(1) 先進的経営体や地域の核となる経営体の育成及び経営の安定化・高度化支援 3－(4) 大規模自然災害等からの復旧・復興に向けた支援		
地域基本方針上の関連項目	1－(1) 先進的経営体や地域の核となる経営体の育成及び経営の安定化・高度化支援 3－(4) 大規模自然災害等からの復旧・復興に向けた支援		
担当チーム員	◎石原なつ子, 伊藤尚美, 小林雅文, 鈴木香深, 横田善尚	担当班及び進行管理責任担当者	地域農業班 伊藤尚美
令和3年度			
成果指標	定性的目標 ・人事や給与等に関する社内制度が整備され、正しく運用される。 ・作業などが標準化され、社内で認識共有・情報共有されている。 ・社内制度と情報共有体制を元に、人材の採用と定着が図られる。		
	定量的数値目標 ミニトマトにおける標準作業 令和元年：0 → 令和2年：1 → 令和3年：1 (0)		
活動指標	定量的数値指標(合計総現地活動日数 90日)		
	活動事項		
	・社内体制・内規整備など支援		28日
	・ミニトマト部門における作業の標準化支援		42日
	・水田部門の強化支援		20日
関係機関の主な役割分担項目			
東松島市(経営体育成支援等), JAいしのまき(生産販売支援等)			
農業大学校(採用支援, 先進農業体験学習) 宮城県農業経営相談所(中長期計画支援, 内規運用等支援)			
関連事業名と役割			



課題No.	4		
課題名	地域活性化に向けた高収益作物(アスパラガス)の導入・定着		
計画期間	令和2年度～令和4年度		
対象名及び対象数	アスパラガス研究会(20経営体)		
課題の背景	<p>・石巻管内では、東日本大震災からの農業の復旧が進む一方、農業従事者の高齢化、担い手不足が深刻化しており、農業の持続的な発展には農業所得の向上が不可欠である(儲かる農業)。</p> <p>・国では、水稲中心の営農体系から野菜等の高収益作物を導入した営農体系への転換を推進している。</p> <p>・近年、高収益作物の一つとして注目されている野菜にアスパラガスがある。全国的な有数の産地である北海道、長野県では、高齢化、病虫害発生等の要因により作付面積が、近年、急激に減少しており、北海道、長野県を合わせた面積は平成25年から平成29年の5年間で391ha減少(約78ha/年)している。また、作付け面積の減少にともなう生産量も減少している。さらに、輸入量は平成12年の24,767トンピークに平成29年には10,082トンと減少、入荷量は横ばいの状況である。</p> <p>・このような状況のなかアスパラガスは需要があり高値で推移している。(仙台市場年平均約1,400円/kg)</p> <p>・近年、アスパラガス栽培の課題であった病害への対応方法として明治大学において、植え付けの翌年に収穫できる栽培方法(アスパラガス採りつきり栽培)が開発された。平成30年度から調査研究課題として技術実証に取組み、県内における栽培について一定の見通しが立ったことから、採りつきり栽培や既存の栽培方法である露地・ハウスを組み合わせた作型を新たに取組む農業者がいる(直売所生産者、土地利用型農業法人及び新規就農者)。</p> <p>・このことから令和元年度にアスパラガス生産振興を図るためアスパラガス研究会を設立した。</p> <p>・アスパラガスの導入・定着への支援を行うことにより、農業経営における所得向上の実現を図り、地域農業の活性化を目指す。</p> <p>(前年度までの成果と今後の改善方向)</p> <p>・栽培管理勉強会の実施により、アスパラガスの生理生態とアスパラガス採りつきりの栽培方法を習得できた。</p> <p>・販売戦略会議(グループワーク)の実施により、対象者が主体的に短期長期の販売戦略を検討することができた。</p> <p>・令和2年度の定量的数値目標25aに対して、47aと目標を達成した。</p> <p>・対象者の一部に病害(茎枯病、斑点病)の発生があったことから、次年度の栽培管理勉強会では病虫害対策を強化する。</p>		
期待される対象の変化	・露地・施設と長期・短期の組み合わせによる生産体制が確立し、収益が確保できる作物として定着。		
県実施方針上の関連項目	1- (1) 先進的経営体や地域の核となる経営体の育成及び経営の安定化・高度化支援 1- (2) 新たな担い手の確保・育成と多様な人材の活躍支援 1- (5) 収益性の高い水田農業・畜産経営の展開支援		
地域基本方針上の関連項目	1- (1) 先進的経営体や地域の核となる経営体の育成及び経営の安定化・高度化支援 1- (2) 新たな担い手の確保・育成と多様な人材の活躍支援 1- (5) 収益性の高い水田農業・畜産経営の展開支援		
担当チーム員	◎佐藤泰征, 伊藤尚美, 今野 誠, 小野愛実, 濁沼小百合	担当班及び進行管理責任担当者	地域農業班 伊藤尚美
令和3年度			
成果指標	定性的目標 アスパラガスの生理生態を理解し、アスパラガス採りつきり栽培方法を習得する。 販売実績を踏まえて、生産者が主体的に販売戦略を検討する。		
	定量的数値目標 アスパラガス栽培面積(12月時点) 令和元年:2a → 令和2年:25a → 令和3年:50a → 令和4年:100a (実績47a)		
活動指標	定量的数値指標(合計総現地活動日数 143日)		
	活動事項		
	安定生産技術に関する技術力向上		80日
	販売先・単価確保のための販売力向上		21日
	関係者間のネットワーク力向上		42日
関係機関の主な役割分担項目 JAいしのまき(生産販売支援等), 石巻市, 東松島市(経営体育成支援等) 農業・園芸総合研究所(栽培技術支援等), 東部地方振興事務所農業農村整備部(営農計画作成支援(高収益作物導入)等) 明治大学, パイオニアエコサイエンス株式会社(地域適応品種選定に関する共同研究)			
関連事業名と役割			

課題No.	3		
課題名	県育成品種「にこにこベリー」の収量安定化（「園芸振興」関連課題）		
計画期間	令和2年度～令和3年度		
対象名及び対象数	(株)いちごランド石巻, (株)トライベリーファーム, (株)イグナルファーム (株)アグリ・パレット, (株)サンエイト		
課題の背景	<p>「にこにこベリー」は「とちおとめ」と同様年内出荷が可能であり、果肉が赤いといった特徴からスイーツ店などの需要が高い品種である。</p> <p>石巻地域の法人等では令和2年産より宮城県育成品種「にこにこベリー」の栽培に取り組んでいる。従来の「とちおとめ」とは異なる品種特性から房折れなどの問題が見られるのに加えて、石巻管内では培地のpH低下や排水性の悪さ、温度管理や病虫害防除などの課題が見られる。</p> <p>品質と収量の安定化に向けて「にこにこベリー」の品種特性に応じた温度管理、養液管理などの栽培管理を習得する必要がある。</p> <p>(前年度までの成果と今後の改善方向)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収量低下要因をまとめて改善策を提案したところ、炭酸ガス処理装置を導入し、ハダニの持ち込みを抑制した法人、培地交換を行い、培地の経年劣化を改善した法人が見られた。</li> <li>・定期的な巡回指導で良質な苗を十分量確保することができた。</li> <li>・3法人平均収量は2,200kg/10aと令和元年産より増収した。</li> <li>・11月～2月までの収量は令和3年産は令和2年産と比べて増収が見られ、定量的数値目標である2,500kg/10aを超える2,900kg/10aの収量を上げた対象も見られた。</li> <li>・今後も定期的に生育調査を行い、収量データと併せて解析することで「にこにこベリー」の特性に適した栽培管理指導を行う。</li> </ul>		
期待される対象の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養液管理、温度管理、病虫害防除などいちごの栽培環境を整え、「にこにこベリー」の品種特性を考慮した栽培管理を行えるようになる。</li> <li>・「にこにこベリー」の特性にあった管理技術を習得し、定着する。</li> </ul>		
県実施方針上の関連項目	1-(3)先端技術等の推進・普及による農業経営の効率化・省力化支援		
地域基本方針上の関連項目	1-(3)先端技術等の推進・普及による農業経営の効率化・省力化支援		
担当チーム員	◎鈴木香深, 三上綾子, 小林雅文, 今野 誠, 渡邊真文	担当班及び進行管理責任担当者	先進技術第二班 三上綾子
令和3年度			
成果指標	定性的目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養液管理、温度管理、病虫害防除などいちごの栽培環境を整え、「にこにこベリー」の品種特性を考慮した栽培管理を行えるようになる。</li> <li>・「にこにこベリー」の特性にあった管理技術を習得し、定着する。</li> </ul>	
	定量的数値目標	<p>「にこにこベリー」の11月から2月末までの収量</p> <p>目標 令和2年産:2,500kg/10a → 令和3年産:2,500kg/10a → 令和4年産 :2,500kg/10a  計画策定時(慣行とちおとめ)  成果 令和2年産:1,490kg/10a → 令和3年産:2,200kg/10a</p>	
活動指標	定量的数値指標(合計総現地活動日数	60日)	
	活動事項	生育データに基づいた栽培支援	40日
		環境データに基づいた養液、温度管理支援	20日
関係機関の主な役割分担項目			
石巻市, 東松島市:経営体育成支援, JAいしのまき:営農指導, 販売支援, 農業・園芸総合研究所:生産技術指導			
関連事業名と役割			
県育成いちご品種「にこにこベリー」現地普及推進事業			

### (3) 調査研究一覧

調査研究課題名	内 容	対象農家	担当者
新規就農希望者と法人をつなぐ農業法人情報シートの整理	農業法人に就農・研修を希望する新規就農者への意向調査や農業法人における研修体制等の実態調査を行い、農業法人に就農を希望する新規就農者と農業法人の良好なマッチングを行うための情報シートを整理する。	管内就農希望者，新規就農者，農業法人等	石原 なつ子 伊藤 尚美
客土ほ場のアスパラガス栽培における肥効の違いが生育に及ぼす影響	アスパラガス「採りっきり栽培®」や周年立茎栽培に取り組む生産者及び面積が増えている。客土ほ場における栽培事例がみられることから、客土ほ場における肥効の違いがアスパラガスに及ぼす影響を確認する。	アスパラガス研究会	佐藤 泰征
復旧農地の地力向上による水稻増収対策	長面地域の復旧農地は、山土が客土され砂質土壌で地力が低く、収量は低い状況にあることから、長面地域の水田での堆肥施用による地力向上等の効果を検証する。	(株)宮城 リスタ大川	阿部 定浩 小野 愛実 岩間 睦美
加工用ばれいしょ栽培が後作の水稻乾田直播栽培に及ぼす影響	ばれいしょの栽培においては、土壌改良資材や選別後のくずいもをほ場に投下することで地力の維持・向上効果があると考えられることから、輪作体系にばれいしょを組み込んだ場合の水田土壌や水稻への影響を検討する。	(農)おおし お北部	児玉 彩 横田 善尚
大麦ほ場における越冬後の土壌茎葉処理剤の除草効果検討	石巻地域の大麦栽培では後発雑草の対策が課題となっているため、作業が比較的少ない3月下旬から4月上旬に茎葉処理効果と土壌処理効果のある除草剤の除草効果等を検証する。	(株)JKフ ァーム	三上 綾子 遠藤 貴司
オリーブの収量向上に関する試験	受粉率向上のため、令和2年度に明らかにした養液受粉の溶媒組成(花粉の発芽に最適な糖及びホウ砂の濃度)をほ場レベルで試験を行いその実用性を検討する。また、炭疽病等の病害虫の発生状況について調査を行い、結実期の防除体系確立に資する。	石巻北限オ リーブ研究 会	小林 雅文
県育成品種「にこにこベリー」の収量等に関する解析	県育成品種「にこにこベリー」が栽培開始された当初は課題が散見されたが、中休みの改善や収量の増加など栽培技術が向上した。そこで、収量・食味の向上に向け、生育状況や環境データと収量や食味との関連について解析する。	いちご生産 法人	鈴木 香深 今野 誠

### Ⅲ 普及センターの活動等

#### (1) 普及センター活動一覧表

##### イ 重点活動

活動項目	目的及び内容	対 象	担当班
1 河北せりの生産 振興と産地強化	(目的) せりの産地維持発展を図るため、新規就農の受け入れ体制の整備と作業の軽労化推進検討 (内容) 後継者、継承者の受入体制の整備 せり作業の労働調査と軽労化検討	河北せり振興 協議会	先進技術第二班
2 担い手育成支援 機関等との連携に よる新規就農者の 確保・育成	(目的) 「農業経営基盤の強化の促進に関する基本方針」に掲げる新たに農業経営を営もうとする青年等の確保・育成を図る。 (内容) ・担い手育成支援協議会、農業大学 校及び農業高校等教育機関等との 連携による就農支援 ・就農相談及び各種計画（青年等就 農計画とそれに付随する資金計画 等）の作成支援 ・新規就農者の資質向上（技術、経 営）支援	就農希望者 新規就農者 (石巻市：1名) (東松島市：2 名) 青年農業者 認定新規就農 者 (石巻市：6名) (東松島市：5 名)	地域農業班
3 地域のモデルと なる法人経営体の 育成支援	(目的) 所内に設置した「地域農業経営高度 化支援チーム」を主体に、農業経営 相談所等を活用しながら、補助事業 を活用し、事業立ち上げ・拡大を図 る法人等の早期経営安定化を図る。 また、震災後設立された法人の状況 に合わせたフォローアップを行う。 (内容) ・補助事業活用し、事業拡大する法 人への経営安定化支援 ・震災後設立法人の人材定着・育 成、経営安定化等支援	(株)絆粋ファ ーマーズ (株)Danny Fa rm (農)奥松島グ リーンファーム (有)アグリー ドなるせ	先進技術第二班 先進技術第一班 地域農業班
4 総合対策の実施 に向けた野生鳥獣 被害対策支援	(目的) 野生鳥獣による農作物被害低減に向 け、侵入防止柵設置や周辺環境改善 等の技術対策を支援する。また、効 果的な対策には広域的かつ継続的な 取り組みが必要なことから、集落内 の合意形成を図り、地域住民が協働 して取組む体制づくりを支援する。 (内容) ・野生鳥獣被害対策技術支援 ・集落内合意形成支援 ・集落内点検実施支援	稲井地区ニホ ンジカ対策協 議会 大川鳥獣被害 対策協議会	地域農業班

ロ 一般活動

活動項目	内 容	対 象	担当班
1 地域農業を担う経営体の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関係機関と連携した経営再開プラン（人・農地プラン）作成・見直し支援</li> <li>・ 認定農業者制度に関する情報の提供</li> <li>・ 担い手育成支援協議会等との連携による掘起こし活動</li> <li>・ 経営所得安定対策・担い手・農地総合対策の農業者等への事業活用支援</li> <li>・ 経営再開プラン(人・農地プラン)に位置づけられる中心経営体の地域雇用創出に向けた取組み支援</li> <li>・ 農業士活動の支援と連携強化</li> </ul>	農業法人 生産組織 集落営農組織 認定農業者 石巻農業士会等	地域農業班
2 農業後継者の確保と資質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就農相談及び認定新規就農支援制度に関する情報提供</li> <li>・ 就農受け入れ促進のための環境整備</li> <li>・ みやぎ農業未来塾の開催</li> <li>・ 農業士と連携した育成支援</li> </ul>	就農希望者 農業大学校生 新規就農者 青年農業者 認定新規就農者	地域農業班
3 青年農業者活動支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新規クラブ員の確保</li> <li>・ 自主的なクラブ活動支援</li> <li>・ 直売活動支援</li> <li>・ 経営目標作成と実現に向けた調査研究支援</li> </ul>	石巻地区 4 H クラブ連絡協議会等	地域農業班
4 女性農業者の資質向上と活動支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 女性農業者リーダーの社会参画推進支援</li> <li>・ 女性の起業活動の支援</li> <li>・ 家族経営協定の締結推進</li> <li>・ 女性農業者活動支援</li> </ul>	各市担い手育成支援協議会 農業委員会 女性起業者及び志向者 石巻地域生活研究グループ 連絡協議会 認定農業者 家族経営協定締結者 等	地域農業班
5 農村資源を活かした地域活性化支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 直売所ネットワークづくり</li> <li>・ 都市と農村の交流活動支援</li> <li>・ 農作業体験等を取り入れた交流活動推進支援</li> </ul>	志向農業者 直売所 関係機関	地域農業班

活動項目	内 容	対 象	担当班
6 農作物の野生鳥獣被害防止対策支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野生鳥獣被害対策への意識向上</li> <li>・野生鳥獣被害対策技術情報の提供</li> </ul>	農業者 関係機関 等	地域農業班
7 売れる米づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種生育調査ほ等の設置運営</li> <li>・生育状況に応じた基本技術に関する情報提供及び技術指導</li> <li>・省力化技術の導入・定着支援</li> <li>・県優良品種である良食味米「だて正夢」、玄米食向け「金のいぶき」の普及促進</li> <li>・環境保全米の栽培技術指導</li> </ul>	J A いしのまき稲作部会 農業法人 等	先進技術第一班
8 高品質麦・大豆の安定生産	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種生育調査ほ等の設置運営</li> <li>・生育状況に応じた基本技術に関する情報提供及び技術指導</li> <li>・もち性大麦品種「ホワイトファイバー」の技術指導及び情報提供</li> </ul>	J A いしのまき転作部会	先進技術第一班
9 優良麦・大豆種子生産の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・種子生産に関する技術指導と情報提供</li> </ul>	麦・大豆種子生産組織	先進技術第一班
10 経営管理能力を持つ経営体の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記帳実践者及び記帳グループへの継続的な記帳指導</li> <li>・関係機関と連携した簿記指導</li> <li>・財務諸表による経営診断の実施</li> <li>・法人の適切な経営管理（雇用・労務等）支援</li> <li>・農業制度資金の導入及び経営改善支援</li> </ul>	認定農業者 簿記記帳実践者 新規記帳希望者 農業制度資金利用者 農業法人 等	先進技術第一班 先進技術第二班 地域農業班
11 畜産の生産技術の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・優良肉用牛及び優良豚の生産支援</li> <li>・適正な飼養管理による高品質乳の生産支援</li> <li>・飼料自給率向上に向けた飼料作物（飼料用米等含む）の栽培支援</li> <li>・家畜排せつ物の適正処理と利用の促進支援</li> <li>・安全安心な畜産物・自給飼料作物の生産支援</li> </ul>	J A いしのまき繁殖牛部会 ・肉牛部会・酪農部会等 飼料作物等生産農業者	先進技術第一班

活動項目	内 容	対 象	担当班
12 安全・安心な農産物の生産支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農薬の適正使用についての指導と情報提供</li> <li>・農薬低減や肥料節減に向けた取組, 技術支援</li> <li>・G A P (農業生産工程管理) 導入に向けた啓発・推進</li> <li>・エコファーマー等各種認定制度の活動促進</li> <li>・耕畜連携による土づくり推進</li> </ul>	耕種農家 畜産農家 認証制度活用 農業者及び志 向農業者	先進技術第一班 先進技術第二班
13 野菜の安定生産支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産地改革品目と地域戦略品目の安定生産推進</li> <li>・病虫害防除技術指導</li> <li>・土壌診断等に基づく適正施肥の管理指導</li> <li>・需要拡大に向けた産地P R支援</li> <li>・集落営農組織等が取り組む園芸作物栽培の導入・生産性向上支援</li> <li>・加工業務用野菜の生産支援</li> <li>・産直野菜やマイナー作物の栽培技術支援</li> <li>・遊休園芸施設等把握・活用支援</li> </ul>	J A いしのまき野菜品目別 部会 集落営農組織 農業法人 等	先進技術第二班
14 花きの品質向上及び安定生産支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・低温開花性品種等導入による栽培技術支援</li> <li>・病虫害の適正防除支援</li> <li>・土壌診断や生育診断等による適正管理技術支援</li> <li>・遊休園芸施設等把握・活用支援</li> <li>・石巻産花きのP R支援</li> </ul>	J A いしのまき花き部会及 び花き生産農 業者等	先進技術第二班
15 果樹の安定生産及び生産拡大支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物直売所等で販売する果樹の栽培技術支援</li> <li>・いちじく, ぶどう等新品目の導入及び定着支援</li> <li>・病虫害の発生情報等の提供</li> <li>・実需者との連携による果樹類の需要開拓及びP R支援</li> </ul>	果樹生産農業 者及び志向農 業者	先進技術第二班
16 競争力のあるアグリビジネス展開支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6次産業化推進の情報提供及び活動支援</li> <li>・実需者とのマッチング推進</li> <li>・業務用野菜等契約取引の推進</li> </ul>	志向農業者等	先進技術第一班 先進技術第二班

## (2) 展示ほ・実証ほ等設置計画

名 称	目 的	作物名	設置場所及び 担当農家	主な調査項目	関連事業
水稲生育調査ほ	水稲生育状況の把握	水稲 4か所	石巻市桃生町 (有)サンダー ファーム牛田 石巻市広渕 山田 茂樹 石巻市真野 三浦 寿悦 東松島市小松 浅野 勝則	生育, 収量等 調査	水稲生育診断事業
水稲直播栽培技術普及展示ほ	水稲直播栽培技術の実証普及	水稲 1か所	石巻市須江 (農)たてファ ーム・和	生育, 収量等 調査	実需対応型みや ぎ米普及事業
だて正夢現地栽培技術普及展示ほ	水稲新品種の栽培技術の普及	水稲 1か所	東松島市小松 浅野 勝則	生育, 収量等 調査	実需対応型みや ぎ米普及事業
金のいぶき現地栽培技術普及展示ほ	水稲新品種の栽培技術の普及	水稲 1か所	石巻市蛇田 西條 文雄	生育, 収量等 調査	実需対応型みや ぎ米普及事業
多収栽培実証ほ	水稲多収栽培技術の普及	水稲 1か所	東松島市矢本 (株)めぐいと	生育, 収量等 調査	実需対応型みや ぎ米普及事業
水稲優良品種決定現地調査ほ	有望系統の現地 適応性の検討	水稲 1か所	東松島市大曲 (株)ぱるファ ーム大曲	生育, 収量等 調査	宮城県主要農作 物優良品種決定 調査要領等
水稲乾田直播栽培生育観察ほ	水稲乾田直播栽培技術の普及	水稲 2か所	石巻市桃生町 (有)サンダー ファーム牛田 石巻市北上 (株)ゆいっこ	生育, 収量等 調査	
麦生育調査ほ	麦類の生育状況 の把握	大麦 2か所 小麦 1か所	石巻市桃生町 (有)高須賀農産 (株)JKファ ーム 石巻市小船越 (株)クリーン ライス	生育, 収量等 調査	売れるみやぎの 麦・大豆生産拡 大事業
麦優良品種決定 現地調査ほ	有望系統の現地 適応性の検討	大麦 1か所	石巻市蛇田 蛇田集団転作 組合	生育, 収量等 調査	宮城県主要農作 物優良品種決定 調査要領等



名 称	目 的	作物名	設置場所及び 担当農家	主な調査項目	関連事業
麦類生育観測ほ	管内麦類の生育 状況把握	大麦 2か所 小麦 1か所	石巻市稲井 (農)水沼ファ ーム (農)ドリーム 真野 石巻市桃生町 (株)入沢ファ ーム	生育, 収量等 調査	
大豆生育調査ほ	大豆の生育状況 把握	大豆 2か所	石巻市稲井 (農)水沼ファ ーム 石巻市小船越 (株)クリーン ライス	生育, 収量等 調査	売れるみやぎの 麦・大豆生産拡 大事業
大豆優良品種決 定現地調査ほ	有望系統の現地 適応性の検討	大豆 1か所	石巻市和渕 子玉 吉男	生育, 収量等 調査	宮城県主要農作 物優良品種決定 調査要領等
大豆生育観測ほ	大豆の生育状況 把握	大豆 3か所	石巻市蛇田 蛇田集団転作 組合 石巻市桃生町 (有)サンダー ファーム牛田 石巻市広渕 (農)五十鈴フ ァーム	生育, 収量等 調査	
果樹作況調査ほ	ぶどう「シャイ ンマスカット」 の生育状況把握	ぶどう 1か所	東松島市大曲 菊地 家丈	生育, 収量等 調査	園芸振興戦略総 合対策事業
飼料作物実証展 示ほ	稲発酵粗飼料専 用品種等の普及 展示	稲WCS 2か所	石巻市河南 日野 直幸 窪田 求	生育, 収量等 調査	自給飼料生産総 合推進事業・飼 料価格高騰対策 支援事業
「にこにこベリ ー」普及展示ほ	いちご新品種 「にこにこベリ ー」の普及展示, 栽培技術指導	いちご 1か所	石巻市蛇田 (株)トライベ リーファーム	研修会等の回 数, 栽培面積, 収量等調査	県育成いちご新 品種「にこにこ ベリー」展開事 業
農薬等普及展示 ほ	農薬等の現地へ の普及性の検討	きゅう り 1か所	東松島市 (選定中)	薬剤効果等の 調査	

### (3) 各種情報調査計画

名称	作物名	主な調査項目	調査時期(月)	調査回数	関係課	関係事業等
新規就農者調査	—	新規就農者の就農時期, 経営規模等	4, 11	2	農業振興課	青年農業者育成確保推進事業(基盤強化法基本方針の達成状況把握)
地区農業士会の活動状況報告	—	農業士会の活動内容	4~5	1		農業士活動事業
農村青少年クラブ動向調査	—	4 Hクラブ数	4	1		農村青少年指導者研修事業
家族経営協定に関する調査	—	家族経営協定締結数	4~6	1		農業・農村男女共同参画支援事業(パートナーシップ指標の達成状況把握)
普及現地事例情報調査	—	普及現地事例情報等の収集	2	1		全国農業改良普及支援協会より照会
主要農作物生育概況調査	各作物	各作物の生育状況	4~3	12	みやぎ米推進課	
水稻の播種状況及び田植状況	水稻	播種面積, 田植面積	4~5	7		水稻生育診断事業
水稻の出穂状況	水稻	出穂面積	8	6		水稻生育診断事業
水稻の刈取状況	水稻	刈取面積	9~10	6		水稻生育診断事業
水稻直播栽培実態調査	水稻	直播栽培面積	6	1		みやぎ米安定生産対策・多収品種導入事業
種子審査	麦, 大豆	発芽率, 種子伝染性病害虫発生程度等	4~3	5		みやぎの主要農作物種子等生産体制整備事業
農産物の放射性物質に関する調査	各作物(野菜・果実除く)	農産物の放射性物質検査	4~3	随時		農産物放射能対策事業
農薬の短期暴露評価等導入に伴うJA栽培暦等確認	各作物	JA栽培暦等記載農薬の確認	4~3	随時		国からの通知による。
農薬危害防止運動の実施状況	—	農薬適正使用の指導を行った講習会等の内容及び受講者数等	6~8	1		農薬適正使用推進事業(農薬安全使用指導事業)
GAP取得に関する意向調査	—	GAP取得意向等	11~2	1		GAP認証取得推進事業(農産物)
GAP理解度測定アンケート	—	GAP指導対象者の「国際水準GAPの実施」についての理解度	5~3	2	GAP認証取得推進事業(農産物)及び国際水準GAP普及推進交付金(国)	
加工・業務用野菜に関する取組状況調査	野菜	生産額, 面積, 出荷先, 品種名等	6	1	園芸振興室	加工・業務用野菜産地育成強化事業
地域特産果樹生産動態等調査	全果樹	樹種別作付面積, 生産出荷数量等	10~4	1		国からの照会に基づく
花き産業振興総合調査	花き類	市町村別作付面積, 生産出荷数量等	12	1		国からの照会に基づく
果樹作況調査	ぶどう	発芽, 開花, 肥大, 収量等生育調査	4~12	10		園芸振興戦略総合対策事業
県育成園芸品種に関する調査	野菜, 花き, 果樹	栽培面積, 収量等調査	4~3	随時		優良種苗供給事業
永年生牧草地再除染に係る調査	永年生牧草	基準値超過牧草の原因調査(土壌分析等)	4~3	随時	畜産課	給与自肅牧草等処理円滑化事業
飼料作物生育・収量調査	飼料用稲	生育・収量調査	4~3	随時		飼料価格高騰対策支援事業 自給飼料生産総合推進事業

## IV その他

### (1) 管内で実施される主な事業と普及センターの役割分担

市町	事業名等	関係課	想定される具体的な普及事業の役割 (箇条書き)	担当班
全域	みやぎの食材バリューチェーン構築プロジェクト【政策】(県主催商談会、県募集商品開発事業等)※	食産業振興課	・地域の食材と加工のマッチングに関する連携(農業法人等への情報提供等) ※農産物、加工品の販路拡大を目指す農業法人等への情報提供(農工商連携、6次産業化支援等、普及活動のツールとして活用)	先進技術第一班 先進技術第二班
全域	県産ブランド品確立支援事業【政策】※		・地域食材のマーケティングに関する連携・情報交換(情報提供) ・生産地視察の際の実需者へのPR協力	先進技術第一班 先進技術第二班
全域	中山間地域農業ルネッサンス事業 ※		・県による中山間地農業を元気にする各種活動を支援	地域農業班
全域	令和のむらづくり推進事業【重点】		・農山漁村地域における集落機能強化、地域資源ビジネスの創出・展開、関係人口の拡大推進等に取り組む各活動組織への助言指導	地域農業班
全域	多面的機能支払事業【重点】※		・事業を実施する活動組織への助言、支援	地域農業班
全域	むらまち交流拡大推進事業【重点】※		・農林漁家民宿・レストラン等GTの核となる経営体育成に係る指導 ・GT推進協議会活動への支援	地域農業班
全域	鳥獣害防止対策事業 ※		・農作物への鳥獣被害防止対策指導	地域農業班
全域	農林漁業者等6次産業化サポート事業(宮城県6次産業化サポートセンター)※		・6次産業化に取り組む農林漁業者の「経営改善戦略」策定し、付加価値付加価値額増加に向けた指導・助言	先進技術第二班
全域	企業との連携による6次産業化支援強化事業 ※		・企業との連携による商品開発に関する技術的な指導・助言及び農業法人等への企業とのマッチング商談会等に関する情報提供	先進技術第二班
全域	地域資源・キャリア人材育成支援事業【新規】※ ○関係・交流人口受け入れ体制強化事業	農山漁村なりわい課	・農泊や農業体験等受け入れ体制づくりの事業を実施する活動組織・団体等への助言、支援	地域農業班
全域	地域資源・キャリア人材育成支援事業【新規】※ ○都市部人材・企業連携コーディネーター育成事業		・都市部と農村の交流推進、連携体制の構築、運営等の活動支援	地域農業班
全域	地域資源・キャリア人材育成支援事業【新規】※ ○みやぎ地域資源の魅力発見活力向上対策事業		・管内の地域資源を活用した6次産業化(新商品開発や生産者と食品加工事業者等との連携など)の取組の啓発、実践活動支援	地域農業班
全域	地域資源・キャリア人材育成支援事業【新規】※ ○みやぎ農山漁村スモールビジネス創出事業		・地域資源を活用した6次産業化の取組を開始する農業者等の機械・設備等導入及び販売等の事業実施の指導・助言	地域農業班
全域	地域資源・キャリア人材育成支援事業【新規】※ ○みやぎ6次産業化リノベーション支援事業		・6次産業化事業者等の商品改良・販売戦略の見直し等に関する指導・助言	地域農業班
全域	地域資源・キャリア人材育成支援事業【新規】※ ○農産物直売所等機能強化支援事業		・農産物直売所の機能強化、活性化等に向けた助言指導・活動支援	地域農業班
全域	みやぎ農山漁村デジタルトランスフォーメーション推進事業【新規】※		・モデル市町村(地域)のDX地域戦略計画を策定に向けた地域検討会への参画 ・デジタルトランスフォーメーション地域戦略計画の策定の支援	地域農業班
全域	アグリビジネス経営確立支援事業(アグリビジネス経営基盤強化整備事業、大規模園芸経営体育成事業)	園芸推進課	・アグリビジネスを志向する経営体育成支援 ・アグリビジネス経営体の事業展開支援 ・アグリビジネス経営革新計画及び大規模園芸経営体育成事業計画の策定・推進支援	先進技術第一班 先進技術第二班
全域	農業政策企画推進事業(農業参入支援等)※		・一般企業が農業参入を行うに当たって、栽培技術等の助言指導 ・農業法人等が農福連携に取り組むに当たっての助言、指導	先進技術第一班 先進技術第二班
全域	みやぎ型農福連携普及拡大事業 ※		・みやぎ農福連携推進ネットワーク活動への支援	地域農業班
全域	みやぎの農業多様な人材活躍推進事業 ※		・事業活用に向けた支援(事業の周知、計画立案支援、計画の実現に向けた支援)	地域農業班
全域	農業経営基盤強化促進事業 ○元気のるみやぎの担い手育成・確保推進交付金のうち担い手育成総合支援活動事業 ○強い農業・担い手づくり総合支援交付金	農業振興課	・地域担い手協議会のコーディネーター役としての支援 ・担い手協議会が実施する認定農業者等担い手の資質向上や農業経営改善計画の達成に向けたフォローアップ活動の支援 ・農業法人設立を希望する経営体等に対する法人設立支援等 ・担い手協議会との連携による設立間もない農業法人等に対する経営診断や会計等に関する指導助言 ・事業活用に向けた支援	地域農業班
全域	農業経営総合サポート事業 ○農業経営相談所		・農業経営の法人化・高度化に向けた支援	地域農業班

市町	事業名等	関係課	想定される具体的な普及事業の役割 (箇条書き)	担当班
全域	農地中間管理事業 ※	農業振興課	・中間管理事業による農地集積の普及啓発 ・市町村、農業委員会等への情報提供、意見交換 ・中間管理事業担当との情報共有	地域農業班
全域	農業制度資金関係事業		・農業改良措置に関する意見書の作成(必要と認められる場合) ・経営改善資金計画書等作成の助言・指導及び認定新規就農者に係る意見書の作成 ・事業計画の達成及び借入金返済を含めた資金繰りの安定化を確保するために必要な生産技術・経営の指導・助言	地域農業班 先進技術第一班
全域	農業・農村男女共同参画支援事業		・キャリアアップ講座等、女性農業者に対する経営・技術支援 ・女性農業者及び女性グループ等の表彰推薦 ・若手女性の掘り起こし・育成、農村女性リーダーの育成 ・男女共同参画推進、社会参画に関する意識啓発	地域農業班
全域	農村青少年指導者研修事業		・農村青少年クラブ活動の啓発、普及 ・農村青少年クラブ活動の助長	地域農業班
全域	青年農業者育成確保推進事業		・関係機関と連携した新規就農者の確保・育成 ・就農計画を申請しようとする者に対する就農相談 ・申請内容への事前指導 ・農業次世代人材投資事業(旧:青年就農給付金)に関する支援	地域農業班
全域	農業士活動事業		・農業士の認定に関する農業者の情報収集・調整 ・農業士活動への指導・支援	地域農業班
全域	みやぎ農業未来塾開催事業		・生産技術や流通販売等に関する集合研修等の開催	地域農業班
全域	マンツーマンサポート事業		・新規就農者に対する栽培、経営管理支援	地域農業班
全域	みやぎのキラリ輝く女性応援事業【新規組替】 ※		・事業活用に向けた支援	地域農業班
全域	普及指導員調査研究費		・専門項目に関する技術及び普及指導活動方法についての調査研究	各班
全域	スマート農業実証モデル推進事業【政策】 アグリテック活用推進事業 ※		・アグリテックの普及・推進 ・アグリテック実践導入経営体への支援(相談・指導・助言)	先進技術第一班
全域	地域農業担い手育成支援事業		・集落営農組織等の法人化支援 ・新規設立法人の経営安定化支援	先進技術第一班
全域	地域を守る、集落営農モデル支援事業 ※		・対象選定、対象との調整 ・派遣専門家等と連携し、支援方向の決定や支援計画の作成、進行管理 ・支援対象に対する助言・指導	地域農業班
全域	「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト」及び「スマート農業加速化実証プロジェクト」 ※		園芸推進課	・スマート農業実証技術の営農管理支援 ・生育状況の記録(写真等) ・スマート農業実証農場の情報発信・視察受入対応
全域	強い農業・担い手づくり総合支援交付金 ※	みやぎ米推進課	・事業計画構築支援 ・取組農業者等の経営・生産計画策定支援	地域農業班
全域	産地生産基盤パワーアップ事業 ※		・事業計画指導支援 ・取組主体の経営・生産計画策定支援 ・低コスト生産技術等の導入と目標達成に向けた支援	地域農業班
全域	農畜産物輸出拡大施設整備事業 ※		・事業実施主体(農業法人等)の経営・生産計画の策定・推進支援	先進技術第一班
全域	みやぎの主要農作物等生産体制整備事業	みやぎ米推進課	・優良種子を安定確保するための栽培指導 ・種子生産ほのほ場審査及び生産物審査(事務決裁規程第3条別表第一) ・農協及び採種組合等の生産体制整備に係る指導	先進技術第一班
全域	県産こめ粉利用拡大事業 ※		・農漁家レストラン等での米粉利用に関する情報提供や食品企業等への県産米の米粉活用に向けた連携	先進技術第一班
全域	売れるみやぎの麦・大豆生産拡大事業【重点】		・麦大豆の生育調査ほの設置及びそれを活用した技術指導	先進技術第一班
全域	「実需対応型みやぎ米普及事業」【組替】【政策】		・「だて正夢」、「金のいぶき」普及展示ほ設置、地域栽培塾等による技術指導 ・水稻直播栽培技術普及展示ほ等による省力・低コスト稲作推進	先進技術第一班
全域	水稻生育診断事業		・水稻の生育調査ほの設置及びそれを活用した技術指導	先進技術第一班

市町	事業名等	関係課	想定される具体的な普及事業の役割 (箇条書き)	担当班
全域	経営所得安定対策等推進事業 ※	みやぎ米推進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業者に対する経営所得安定対策制度の活用支援</li> <li>・水田フル活用や水田農業高収益化、産地づくりの推進に必要な作物や技術導入に関する指導支援</li> <li>・地域農業再生協議会による水田農業収益力強化ビジョンの策定及び取組支援</li> </ul>	各班
全域	新市場開拓に向けた水田リノベーション事業 ※		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域農業再生協議会が策定した「水田リノベーション産地・実需協働プラン」に参画する農業者が行う低コスト生産等の取組支援</li> </ul>	地域農業班
全域	農薬適正使用推進事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイナー作物における農薬登録拡大試験の実施</li> </ul>	先進技術第一班 先進技術第二班
全域	GAP 認証取得推進事業（農産物）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際水準GAPの導入や認証取得推進指導</li> </ul>	先進技術第一班 先進技術第二班
全域	農業機械総合対策推進事業 ※		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種講習会・研修会、巡回指導時における農作業安全指導</li> <li>・普及センターだより等への掲載</li> </ul>	先進技術第一班
全域	環境にやさしい農業定着促進事業（環境保全型農業支援普及事業）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度の普及と志向農家の掘り起こし、誘導</li> <li>・認定志向農業者に対する「導入計画」策定時の指導、助言</li> <li>・導入計画実現に向けた指導、助言</li> <li>・必要に応じ、実施状況に係る認定農業者への現地調査</li> </ul>	先進技術第一班 先進技術第二班
全域	環境にやさしい農業定着促進事業（有機農業定着促進・推進体制整備事業、環境保全型農業支援普及事業、みやぎの環境にやさしい農産物・認証制度）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有機農業者への助言・指導</li> <li>・有機農業参入相談活動の情報提供</li> <li>・みやぎの環境にやさしい農産物・認証制度の普及と志向農家の掘り起こし、誘導等支援</li> </ul>	先進技術第一班 先進技術第二班	
全域	農産物放射能対策事業	園芸推進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米、麦、大豆、そばのサンプリングと放射性物質分析結果等に基づく放射性物質吸収低減対策等の技術指導</li> </ul>	先進技術第一班
全域	みやぎ大規模園芸総合推進事業【ビジョン】 園芸振興戦略総合対策事業から拡充代替 果樹生産性向上対策事業を含む		<ul style="list-style-type: none"> <li>・所管地域における産地育成、施策展開等を実施するため、農業経営・技術上の調査協力や課題解決支援</li> <li>・地域の園芸振興に係る計画の策定のための支援・助言・指導</li> <li>・野菜産地強化計画の策定及び花き、果樹、特用作物の産地改革計画、策定のための助言・指導</li> <li>・最重要品目の生産振興に向けた集中的支援</li> <li>・水田等における加工・業務用野菜の生産拡大及び新たな産地育成</li> <li>・果樹作況調査ほにおける作況把握（りんご、なし、もも、ぶどう）</li> <li>・果樹の生産技術指導</li> </ul>	先進技術第一班 先進技術第二班
全域	みやぎの園芸法人ステージアップ事業【重点】		<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業的な園芸法人等の育成支援</li> </ul>	先進技術第二班
全域	園芸作物サプライチェーン推進事業【ビジョン】 競争力ある園芸産地づくり生産流通強化事業から組替新規		<ul style="list-style-type: none"> <li>・産地間の広域連携強化への支援</li> <li>・広域連携協議会運営に関する支援</li> </ul>	先進技術第二班
全域	水田農業高収益作物導入推進事業 ※		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業活用に向けた支援</li> </ul>	先進技術第二班
全域	園芸作物優良種苗供給生産事業		<ul style="list-style-type: none"> <li>・園芸品目における有望品種の現地普及支援</li> </ul>	先進技術第二班
全域	園芸特産団体育成事業（みやぎ花きプロモーション事業を含む）		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各協議会等の活動との連携</li> <li>・所管地域内花き産地の情報提供</li> </ul>	先進技術第二班
全域	県育成いちご新品種「にこにこベリー」展開事業【重点】		<ul style="list-style-type: none"> <li>・にこにこベリーの普及に向けた展示ほの設置、栽培技術指導</li> </ul>	先進技術第二班
全域	データ駆動型農業の実践・展開事業 ※		<ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代施設園芸拠点及びデータ駆動型施設園芸モデル農場で得られた高度環境制御技術の普及支援</li> </ul>	先進技術第二班
全域	畜産業振興事業等指導事業		畜産課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・畜産特別資金借入農家に対する経営・技術支援指導</li> </ul>
全域	放射性物質影響調査事業 ※	<ul style="list-style-type: none"> <li>・粗飼料、土壌等の放射性物質分析に基づく適切な飼養管理等の技術指導</li> </ul>		先進技術第一班
全域	畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業【重点】※	<ul style="list-style-type: none"> <li>・畜産クラスター協議会指導、構成員として助言</li> <li>・クラスター計画策定・見直し等支援</li> <li>・施設整備事業計画構築支援</li> <li>・施設整備対象者経営指導</li> </ul>		先進技術第一班
全域	給与自肅牧草等処理円滑化事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・除染済牧草地の放射性物質吸収抑制対策技術支援</li> </ul>		先進技術第一班
全域	畜産環境整備リース事業 ※	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業を要望する畜産農家の処理技術指導及び経営指導</li> </ul>		先進技術第一班
全域	自給飼料生産総合推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飼料価格高騰に対応する技術指導</li> <li>・飼料作物の奨励品種の普及展示</li> </ul>		先進技術第一班
全域	飼料価格高騰対策支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飼料価格高騰に対応する技術指導</li> <li>・稲発酵粗飼料の奨励品種の普及展示</li> </ul>		先進技術第一班
全域	畜産経営技術高度化促進事業 ※	<ul style="list-style-type: none"> <li>・畜産協会の畜産コンサルタント団と連携した、対象農家への経営・技術両面の支援指導</li> </ul>		先進技術第一班
全域	畜産振興総合対策推進指導事業（養蜂振興推進事業）※	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設園芸農家への花粉交配用ミツバチ導入の調査協力</li> </ul>		先進技術第二班

市町	事業名等	関係課	想定される具体的な普及事業の役割 (箇条書き)	担当班
全域	乳用牛群検定指導強化事業	畜産課	・検定データの分析結果を検定農家へ伝達及びデータを活用した飼養管理の指導	先進技術第一班
全域	家畜改良促進事業 ※		・共進会に参加する牛の選定協力	先進技術第一班
全域	肉用牛集団育種推進事業【重点】※		・県種雄牛造成に係る直接検定牛、現場後代検定牛の選定協力 ・生産現場における県肉用牛改良方針、交配及び優良繁殖雌牛の保留推進等の情報提供	先進技術第一班
全域	GAP認証取得推進事業【重点】※		・認証制度の普及啓発 ・認証取得希望者への支援	先進技術第一班
全域	第12回鹿尻島全共出品対策事業【重点】※		出品候補牛の調査、技術指導	先進技術第一班
全域	土地改良事業地区営農推進優良事例表彰事業 ※	農村振興課	・推薦調書の作成支援	地域農業班
全域	農地等地域整備構想策定支援（県営ほ場整備事業調査書）※		・地域営農構想の策定支援等	地域農業班
石巻市 東松島市	(事業要望地区調査) 県営ほ場整備事業調査費 農業農村整備事業実施計画費 ※		・担い手農家の営農計画策定支援 ・地域営農計画の策定支援 ・土壌調査等の基礎調査支援	地域農業班
石巻市 東松島市	国営かんがい排水事業 ※ 直轄特定災害復旧事業仙台東地区		・収益性向上のための作物生産技術指導、支援 (高収益作物導入への取組等)	地域農業班
石巻市 東松島市	農地整備事業 ・農業競争力強化基盤整備事業 ・農山漁村地域整備交付金 ・農村地域復興再生基盤総合整備事業【R2→R3繰越】 農業経営高度化支援事業【重点】※	農村整備課	・組織の立ち上げから運営までの指導、支援 ・担い手への助言、指導 ・作物生産技術指導、支援（直播栽培、高収益作物への取組等） ・農地集積への助言、支援	地域農業班
石巻市 東松島市	農山漁村地域復興基盤総合整備事業【令和2年度→令和3年度繰越】 農業経営高度化支援事業【令和2年度→令和3年度繰越】 ※		・組織の立ち上げから運営までの指導、支援 ・担い手への助言、指導 ・作物生産技術指導、支援 ・農地集積への助言、支援	地域農業班

※当初予算で予算令達のない事業

## (2) 職務分担

班名	職名	氏名	分掌事務
	所長	遠藤 弘樹 (作物)	1 農業改良普及センターの事務を掌理し、所属職員を指揮監督する
	農業普及 指導専門 監	渡邊 真文 (果樹)	1 農業技術の改良普及の指導に関する事務を掌理する 2 普及指導計画（地域普及指導基本方針及び年度計画等）の総括に関すること 3 プロジェクト課題等における各チーム間の総合調整に関すること 4 県農政部重点施策の展開における普及指導活動の総合調整及び指導に関すること 5 みやぎの農業・農村復興に係る普及活動の総括に関すること 6 普及指導員の資質向上に関すること 7 効率的かつ効果的な普及活動の展開に関すること（普及指導員の現地活動時間の確保、プロジェクト課題成果指標達成度の向上等）
	総括次長	濁沼 小百合 (花き)	1 所の事務を掌理し、所長を補佐する 2 所長代決に関すること 3 普及センター管理運営に関すること 4 職員の服務規律及び福利厚生に関すること 5 庶務に関すること 6 安全運転管理者に関すること 7 県民サービス向上運動、事務改善に関すること 8 食の安全・安心の推進に関すること 9 職員の研修に関すること
	総括技術 次長	横田 善尚 (作物)	1 専門的技術に関し、所長を補佐する 2 普及指導計画（地域普及指導基本方針及び年度計画等）の策定及び実施の調整に関すること 3 調査研究に関すること 4 農業技術の指導に関すること 5 県奨励施策に係る市町村・農協及び地方振興事務所内の各部等との総合調整に関すること 6 試験研究開発技術の普及に係る総合調整に関すること 7 みやぎ食と農の県民条例基本計画の推進に関すること 8 産業間連携に関すること 9 関係機関・団体との連携に関すること 10 農業技術に係る各班活動の連携及び調整に関すること 11 経営所得安定対策及びその関連施策に関すること（総括） 12 農地中間管理事業に関すること（総括） 13 男女共同参画社会形成の取組推進に関すること

班名	職名	氏名	分掌事務
地域農業班	技術次長 (班長)	伊藤 尚美 (花き)  〈石巻市 石巻・河南 地域〉	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 班の総括</li> <li>2 班担当のプロジェクト課題等の進行管理に関する事</li> <li>3 各課題チーム活動の調整に関する事</li> <li>4 班担当事業の進行管理に関する事</li> <li>5 普及指導計画の策定及び実施に関する事</li> <li>6 普及センター活動に関する事</li> <li>7 地域農業振興計画等の支援に関する事</li> <li>8 地域営農システム構築への支援に関する事</li> <li>9 人・農地プラン作成の支援に関する事 (総括)</li> <li>10 農地中間管理事業に関する事</li> <li>11 農業経営基盤強化促進対策のうち農用地利用調整等に関する事</li> <li>12 地域担い手育成総合支援協議会(市町村経営改善支援センター)及び地域農業担い手育成センターに関する事</li> <li>13 石巻市農業再生協議会に関する事</li> <li>14 宮城県農業経営相談所に関する事</li> <li>15 地域農業を担う組織育成に関する事 (総括)</li> <li>16 新たな担い手の確保・育成と多様な人材の活躍支援に関する事 (総括)</li> <li>17 農福連携に関する事</li> <li>18 経営所得安定対策及びその関連対策に関する事</li> <li>19 普及活動検討会及び研究会に関する事</li> <li>20 他の班に属さない事務に関する事</li> </ol>
	技術主任 主 査 (副班長)	佐藤 泰征 (花き)  〈石巻市 雄勝・北上 河北地域〉	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域担い手育成総合支援協議会(市町村経営改善支援センター)及び地域農業担い手育成センターに関する事</li> <li>2 地域農業を担う組織育成に関する事</li> <li>3 新たな担い手の確保・育成と多様な人材の活躍支援に関する事</li> <li>4 青年農業者の育成に関する事(正)</li> <li>5 青年農業士, 指導農業士に関する事</li> </ol>
	技術主査	石原なつ子 (作物)  〈東松島市〉	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域農業振興計画等の支援に関する事</li> <li>2 地域営農システム構築への支援に関する事</li> <li>3 人・農地プラン作成の支援に関する事</li> <li>4 農地中間管理事業に関する事</li> <li>5 農業経営基盤強化促進対策のうち農用地利用調整等に関する事</li> <li>6 地域担い手育成総合支援協議会(市町村経営改善支援センター)及び地域農業担い手育成センターに関する事</li> <li>7 東松島市農業再生協議会に関する事</li> <li>8 地域農業を担う組織育成に関する事</li> <li>9 新たな担い手の確保・育成と多様な人材の活躍支援に関する事</li> <li>10 青年農業者の育成に関する事(副)</li> <li>11 経営所得安定対策及びその関連対策に関する事</li> <li>12 普及指導協力委員活動の調整に関する事</li> </ol>
	技 師	小野 愛実 (畜産)  〈石巻市 桃生・牡鹿 地域 女川町〉	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 農作物の野生鳥獣害対策に関する事</li> <li>2 農村振興に関する事(グリーン・ツーリズム等交流活動を含む)</li> <li>3 中山間地域の特色・魅力を活かした農業の発展に向けた支援に関する事</li> <li>4 地域担い手育成総合支援協議会(市町村経営改善支援センター)及び地域農業担い手育成センターに関する事</li> <li>5 地域農業を担う組織育成に関する事</li> <li>6 新たな担い手の確保・育成と多様な人材の活躍支援に関する事</li> <li>7 女性農業者の育成に関する事</li> <li>8 農村生活研究組織の育成に関する事</li> <li>9 表彰推薦に関する事</li> <li>10 農産物の展示会及び共進会に関する事</li> </ol>
	(兼) 技 師	岩間 睦実 (作物)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 青年農業者の育成に関する事(副)</li> </ol>



班名	職名	氏名	分掌事務
先進技術第一班	技術次長 (班長)	遠藤 貴司 (作物)	1 班の総括 2 班担当のプロジェクト課題等の進行管理に関する事 3 各課題チーム活動の調整に関する事 4 班担当事業の進行管理に関する事 5 生産技術改善の普及指導に関する事 (作物) 6 普及センター活動に関する事 7 試験研究開発技術の普及に関する事 8 経営所得安定対策のうち、特に高度な技術・経営の支援に関する事
	技術主幹 (副班長)	阿部 定浩 (作物)	1 生産技術改善の普及指導に関する事 (作物) 2 農業普及情報の収集及び蓄積、伝達に関する事
	技 師	児玉 彩 (作物)	1 生産技術改善の普及指導に関する事 (作物) 2 国際的に通用する農業生産工程管理 (GAP) の普及指導に関する事 3 アグリテックの推進に関する事 4 主要農作物の種子生産に関する事
	技 師	岩間 睦実 (作物)	1 生産技術改善の普及指導に関する事 (作物) 2 オープンラボラトリーの管理運営に関する事
	(兼) 技 師	小野 愛実 (畜産)	1 生産技術改善の普及指導に関する事 (畜産)
先進技術第二班	技術次長 (班長)	三上 綾子 (野菜)	1 班の総括 2 班担当のプロジェクト課題等の進行管理に関する事 3 各課題チーム活動の調整に関する事 4 班担当事業の進行管理に関する事 5 生産技術改善の普及指導に関する事 (野菜) 6 普及センター活動に関する事 7 土壌分析の運営・管理に関する事
	技術次長 (副班長)	小林 雅文 (果樹)	1 生産技術改善の普及指導に関する事 (果樹・経営)
	技術主幹	今野 誠 (野菜)	1 生産技術改善の普及指導に関する事 (野菜) 2 アグリテックの推進に関する事 3 アグリビジネス・6次産業化の推進に関する事
	技 師	鈴木 香深 (野菜)	1 生産技術改善の普及指導に関する事 (野菜) 2 環境に配慮した、安全安心な農畜産物生産の技術指導に関する事 3 農産物の流通及び利活用の普及指導に関する事 (農産物利活用) 4 農業労働改善の普及指導に関する事
	(兼) 技術主任 主 査	佐藤 泰征 (花き)	1 生産技術改善の普及指導に関する事 (花き)

普及センター名	宮城県石巻農業改良普及センター
郵便番号	986-0850
住所	宮城県石巻市あゆみ野5丁目7番地
TEL	0225-95-7612
FAX	0225-95-2999
代表メール	isnokai@pref.miyagi.lg.jp
URL	<a href="http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-n/">http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-n/</a>